

# 総額は43億円6千万円

## 歳入

地方交付税は前年度比で1億811万8千円の減少（▲5・8％）です。村税は前年度比1、665万2千円の増加（2・7％）。住民税の徴収率は95・2％です。

県支出金は前年度比1億32万9千円の増加（29・2％）。堆肥舎の建設や第1保育園の新築が主な要因です。

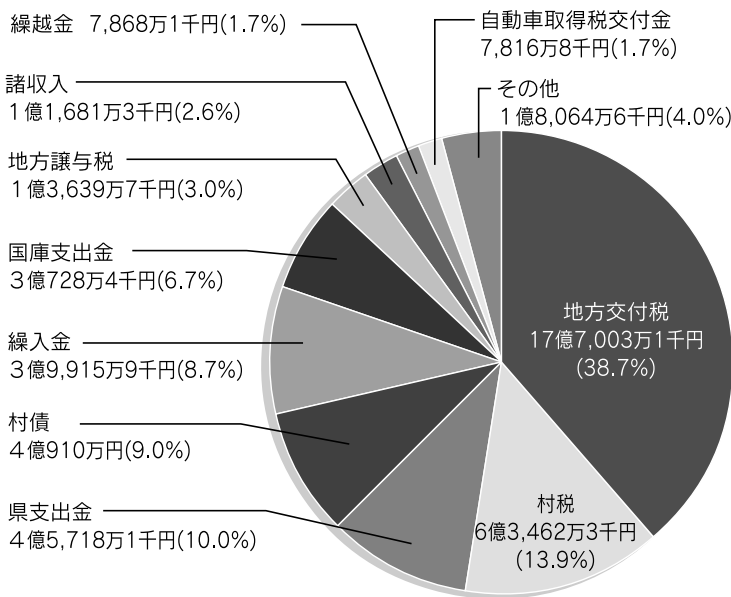
国庫支出金は前年度比2億2、334万1千円の増加（266・1％）。ふれあいグリーンパークの整備や第一保育園の新築が主な要因です。

村の借入金である村債は前年度比1億1、370万円の増加（38・5％）。臨時財政対策債の借入れ増が主な要因です。

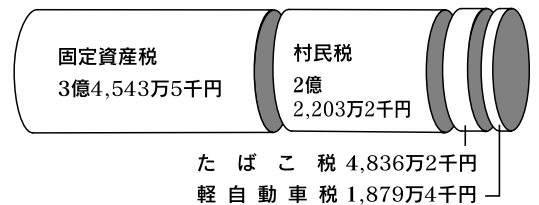
歳入総額は、前年度比5億3、841万8千円の増加（13・4％）です。

決算総額に占める自主財源の割合は29・1％と低水準にあり、依然として地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない厳しい状況です。

## 歳入 45億6,808万3千円



## 村税の内訳



## 用語の解説（歳入）

- 地方交付税** 地方公共団体が行う業務を、すべての市町村が同じように行えるために、ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。
- 村税** 皆さんからの税金で賄われるお金。昭和村では、村民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税等が村税になる。
- 繰入金** 他会計や基金などから繰り入れたお金。
- 県支出金** 県から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- 国庫支出金** 国から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- 村債** 事業を行うために村が借入るお金。
- 地方譲与税** 国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金。

## 老人保健事業特別会計

歳入	7億8,409万5千円
歳出	7億6,571万3千円

## 国民健康保険事業特別会計

歳入	9億1,059万6千円
歳出	8億5,984万2千円



# 一般会計 決算

# 歳出

## 歳出

農林水産事業費は前年度比で1億4、350万4千円の増加(14・0%)です。増加の主な原因は堆肥舎等施設整備事業です。

民生費は前年度比2億7、507万7千円の増加(49・7%)。第一保育園の新築が主な要因です。

総務費は前年度比1億9、617万円の増加(32・8%)。ふれあいグリーンパークの整備が主な要因です。

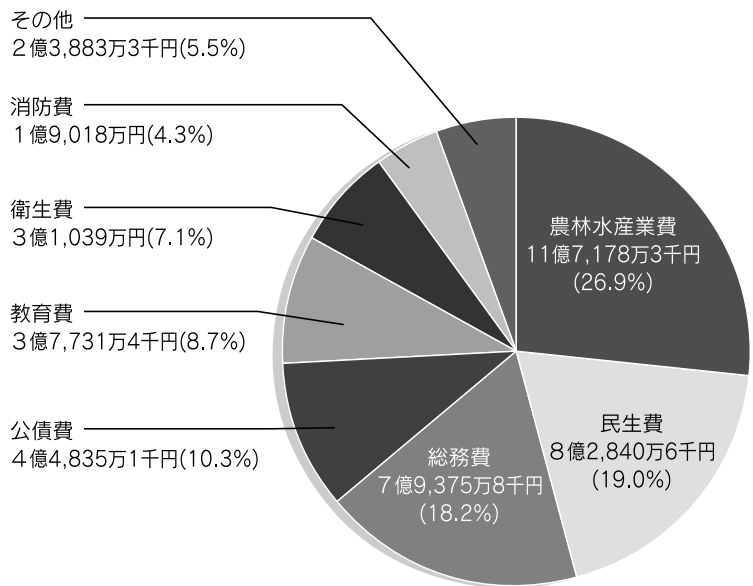
公債費は前年度比2、500万1千円の増加(5・9%)。教育費は前年度比628万8千円の減少(▲1・6%)。

消防費は前年度比4、395万9千円の減少(▲18・8%)。詰所新築工事がなくなったこととポンプ車購入が小型ポンプ積載車購入に切り替わったことが主な要因です。

歳出総額は、前年度比5億7、006万7千円の増加(15・0%)です。

15年度は第一保育園の新築、ふれあいグリーンパークの整備と補助事業が多く、歳出総額が前年度に比べ増加しています。

## 歳出 43億5,901万5千円



### 用語の解説 (歳出)

- 農林水産業費** 農林業の振興や土地改良事業などの経費。
- 民生費** 社会福祉(昭和の湯・福祉センターの運営など)や児童福祉(保育園の管理・運営など)、老人福祉などにかかる経費。
- 総務費** 人件費や事務費、広報しようわの発行、選挙などのお金。
- 公債費** 村債の元金や利子の返済で、毎年返さなければならないお金。
- 教育費** 学校教育(小中学校の管理費)や社会教育(講演会や各種体育大会などの開催)、給食センターの経費など。
- 衛生費** 病気予防の各種検診や母子保健事業などにかかるお金。毎日家庭から出るごみ処理のための経費など。
- 消防費** 消防・防災施設整備の経費(消防団の運営、消防ポンプ車の購入など)。
- 議会費** 村議会の運営の経費や議員報酬など。

### 介護保険特別会計

歳入	4億4,403万1千円
歳出	4億3,247万4千円

### 農業集落排水事業特別会計

歳入	5億8,488万9千円
歳出	5億6,926万6千円

### 簡易水道事業特別会計

歳入	1億8,229万4千円
歳出	1億6,607万8千円